



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社リログループ 上場取引所 東  
 コード番号 8876 URL <https://www.relo.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 謙一  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 門田 康 (TEL) 03-5312-8704  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	65,873	9.3	3,523	△11.0	3,855	△5.7	2,414	△10.2
2019年3月期第1四半期	60,271	8.7	3,961	12.5	4,088	10.4	2,689	10.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,223百万円(△27.7%) 2019年3月期第1四半期 3,075百万円(26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.17	14.48
2019年3月期第1四半期	18.04	16.46

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	216,249	52,625	23.3
2019年3月期	148,477	54,507	35.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 50,370百万円 2019年3月期 52,230百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		税金等調整前当期純利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	11.6	22,500	17.9	14,100	8.4	93.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Brookfield RPS Limited 、除外 1社(社名) -

(注)詳細は、添付資料8ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	152,951,200株	2019年3月期	152,951,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,644,737株	2019年3月期	3,644,737株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	149,306,463株	2019年3月期1Q	149,113,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

連結業績の概況(2019年4月1日～2019年6月30日)

当社グループは、日本企業の海外進出が活発化し、企業のグローバルな競争が激化する環境下において、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」、「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」、また、これらの活動を通じ、「これから始まる日本の大転換になくてはならない存在になる」という使命のもと、「グローバル・リロケーションカンパニーNo. 1」というビジョンを掲げております。このビジョンの実現に向けて、2023年3月期を最終年度とする4カ年の中期経営計画「第三次オリンピック作戦」においては、市場シェアダントツNo. 1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りに挑んでおります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

売上高	658億73百万円	(前年同期比 9.3%増)
営業利益	35億23百万円	(前年同期比 △11.0%減)
税金等調整前 四半期純利益	40億2百万円	(前年同期比 △1.8%減)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	24億14百万円	(前年同期比 △10.2%減)

当第1四半期連結累計期間は、国内リロケーション事業において借上社宅管理戸数が堅調に積み上がったほか、福利厚生代行サービスの会員数等が伸長し、福利厚生事業の業績が順調に推移したことなどが業績に寄与したことなどから増収となりました。一方、6月28日付で公表した「BGRSの株式取得(子会社化)完了に関するお知らせ」のとおり、世界最大のグローバル・リロケーションカンパニーの1社であるBGRSを新たに子会社化したことで、株式取得に伴う一時費用が発生したことなどから、税金等調整前四半期純利益は前年をやや下回る結果となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

## ① 国内リロケーション事業

当事業は、企業福利厚生の住宅分野のアウトソーシングサービスとして、借上社宅管理を中心に物件検索等による転居支援等を提供するほか、寮や社宅物件の仲介、留守宅管理等を手掛けております。また、賃貸不動産の管理や仲介をはじめとした賃貸管理事業を展開するなど、企業の住宅に関する様々なニーズに応えるべく総合的にサービスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、前期までの営業活動が奏功し借上社宅管理戸数が堅調に積み上がった結果、管理手数料収入が伸長したほか、物件検索等の転居支援サービスによる収益が貢献しました。また、賃貸管理戸数が増加したことなどが事業基盤の拡大に寄与しましたが、前第1四半期連結累計期間において不動産売却益の計上があったことなどから、当第1四半期累計期間は減益となりました。

これらの結果、売上高533億64百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益19億70百万円(同7.0%減)となりました。

## ② 福利厚生事業

当事業は、企業の業務負担とコストを軽減し様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生代行サービスや、提携企業向けに顧客特典代行サービス等を提供しております。また、関連事業として住まいの駆け付けサービスを手掛け、顧客会員の生活を総合的にサポートしております。

当第1四半期連結累計期間は、引き続き地方の営業を積極的に展開し、福利厚生代行サービスにおける会員数や顧客特典代行サービスを提供する企業数が増加したため会費収入が伸長しました。また、関連事業である住まいの駆け付けサービスが好調に推移しました。

これらの結果、売上高54億4百万円(前年同期比20.6%増)、営業利益17億43百万円(同22.3%増)となりました。

## ③ 赴任支援事業

当事業は、企業と赴任者を赴任から帰任に至るまで総合的にサポートすることで日本企業の海外進出を支援しており、海外赴任サポート、インバウンドサポート、駐在員規程・処遇コンサルティング等のサービスを総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間は、営業活動が奏功したことなどから、海外出張時におけるビザや航空券の手配のほか、インバウンドサポートサービス等が伸長したことが業績に寄与しました。

これらの結果、売上高15億4百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益3億2百万円（同1.7%増）となりました。

## ④ 海外事業

当事業は、グローバルに働く赴任者を支援すべく、日本企業が進出する世界の主要地域に拠点を展開し、現地における住宅斡旋や赴任者向けサービスアパートメントの運営等を手掛けております。

当第1四半期連結累計期間は、北米を中心にサービスアパートメントの稼働率が堅調に推移しました。一方で、前第1四半期連結累計期間に不動産売却益の計上があったことなどから、当第1四半期累計期間は減益となりました。

これらの結果、売上高22億4百万円（前年同期比23.3%減）、営業利益38百万円（同86.4%減）となりました。

## ⑤ 観光事業

当事業は、福利厚生事業の会員基盤や、企業の保養所をはじめとした地方の中小型のホテル、旅館の運営ノウハウを活用し、ホテル運営事業と別荘のタイムシェア事業を展開するほか、後継者問題を抱えるホテル、旅館の再生にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、ホテル運営事業において運営施設数が前年度より増加したことに加え、別荘のタイムシェア事業においては新規成約数が増加しました。また、備品の共同利用等により運営の効率を高めたことも業績に寄与しました。

これらの結果、売上高32億61百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益5億59百万円（同39.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比して677億71百万円増加し、2,162億49百万円となりました。これは、当社が設立したRelo Group Ontario Inc.を通じて、Brookfield RPS Limited (BGRS) の株式を取得し、BGRS及びその子会社22社を連結子会社としたことが主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比して696億54百万円増加し、1,636億24百万円となりました。これは、BGRS株式の取得に当たり、金融機関3行から合計500億円の借入を実行したことが主な要因です。

純資産合計は、前連結会計年度末に比して18億82百万円減少し、526億25百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を24億14百万円計上した一方で、剰余金の配当が38億81百万円発生したことが主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、想定通りに推移しており、2019年5月14日に発表した「2019年3月期決算短信」に記載の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,320	27,016
受取手形及び売掛金	16,333	51,152
販売用不動産	17,136	20,914
貯蔵品	773	835
前渡金	16,227	16,511
その他	9,595	10,999
貸倒引当金	△40	△36
流動資産合計	87,347	127,393
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,522	13,715
減価償却累計額	△3,748	△3,872
建物(純額)	9,773	9,842
工具、器具及び備品	2,083	2,101
減価償却累計額	△1,678	△1,707
工具、器具及び備品(純額)	404	393
土地	6,291	6,342
その他	1,755	5,997
減価償却累計額	△951	△2,995
その他(純額)	804	3,002
有形固定資産合計	17,274	19,581
無形固定資産		
ソフトウェア	3,133	3,198
のれん	9,152	32,486
その他	26	1,019
無形固定資産合計	12,312	36,704
投資その他の資産		
投資有価証券	13,086	13,925
敷金及び保証金	13,611	13,658
その他	4,868	5,032
貸倒引当金	△58	△77
投資その他の資産合計	31,507	32,539
固定資産合計	61,094	88,824
繰延資産		
社債発行費	33	28
その他	1	1
繰延資産合計	34	30
資産合計	148,477	216,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,842	4,895
短期借入金	5,568	56,395
1年内返済予定の長期借入金	1,950	1,982
未払法人税等	3,599	1,565
前受金	19,247	20,592
賞与引当金	943	467
その他	11,032	28,799
流動負債合計	46,184	114,697
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	26,197	26,041
社債	1,100	800
長期借入金	12,238	12,024
長期預り敷金	6,932	6,872
退職給付に係る負債	276	272
その他	1,039	2,915
固定負債合計	47,785	48,926
負債合計	93,969	163,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,667	2,667
資本剰余金	2,869	2,722
利益剰余金	52,730	51,262
自己株式	△6,691	△6,691
株主資本合計	51,575	49,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	523	695
為替換算調整勘定	124	△291
退職給付に係る調整累計額	6	4
その他の包括利益累計額合計	654	409
新株予約権	12	12
非支配株主持分	2,265	2,242
純資産合計	54,507	52,625
負債純資産合計	148,477	216,249

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	60,271	65,873
売上原価	49,886	54,671
売上総利益	10,384	11,201
販売費及び一般管理費	6,423	7,678
営業利益	3,961	3,523
営業外収益		
受取利息	160	160
受取配当金	0	4
持分法による投資利益	—	152
その他	67	155
営業外収益合計	228	472
営業外費用		
支払利息	36	77
持分法による投資損失	16	—
為替差損	34	3
その他	13	59
営業外費用合計	101	140
経常利益	4,088	3,855
特別利益		
固定資産売却益	54	7
投資有価証券売却益	—	151
特別利益合計	54	158
特別損失		
固定資産売却損	47	—
その他	21	11
特別損失合計	68	11
税金等調整前四半期純利益	4,073	4,002
法人税、住民税及び事業税	1,044	1,166
法人税等調整額	300	364
法人税等合計	1,345	1,530
四半期純利益	2,728	2,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,689	2,414



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,728	2,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	173
為替換算調整勘定	285	△414
持分法適用会社に対する持分相当額	△60	△6
その他の包括利益合計	347	△247
四半期包括利益	3,075	2,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,038	2,169
非支配株主に係る四半期包括利益	37	53

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、Brookfield RPS Limited (BGRS) の株式を取得したため、同社及びその子会社22社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	国内リロケーション事業	福利厚生事業	赴任支援事業	海外事業	観光事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	48,406	4,480	1,487	2,875	2,853	60,103
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	36	22	14	3	87
計	48,417	4,516	1,509	2,889	2,856	60,190
セグメント利益又は損失(△)	2,119	1,425	297	285	402	4,531

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	168	60,271	—	60,271
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	90	△90	—
計	171	60,361	△90	60,271
セグメント利益又は損失(△)	△9	4,521	△560	3,961

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△560百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△560百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	国内リロケーション事業	福利厚生事業	赴任支援事業	海外事業	観光事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	53,364	5,404	1,504	2,204	3,261	65,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	33	27	21	6	103
計	53,377	5,438	1,531	2,226	3,268	65,842
セグメント利益	1,970	1,743	302	38	559	4,615

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	134	65,873	—	65,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	137	△137	—
計	168	66,010	△137	65,873
セグメント利益	4	4,620	△1,096	3,523

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△1,096百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△616百万円、子会社株式の取得関連費用△472百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等管理部門に係る費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」において、当社が設立したRelo Group Ontario Inc.を通じて、Brookfield RPS Limited (BGRS) の株式を取得したため、BGRS及びその子会社22社を連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては23,444百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、4年毎の中期経営計画である「第一次オリンピック作戦」および「第二次オリンピック作戦」期間中に大きく成長しました。現在は、2020年3月期を初年度とする4ヵ年の中期経営計画「第三次オリンピック作戦」を開始しておりますが、本中期経営計画では、使命・ビジョンの実現に向け、国内市場シェアダントツNo.1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りに挑んでまいります。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、各事業間におけるシナジーとシステム投資などの経営資源配分をより効率的に実施することを目的に、経営管理体制を再構築し、事業セグメントを変更いたしました。

具体的には、報告セグメントを従来の「国内事業」、「海外事業」から、「国内リロケーション事業」、「福利厚生事業」、「赴任支援事業」、「海外事業」、「観光事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載してまいります。